

令和2年度事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報 <input type="checkbox"/> 位置付けられている計画等または該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。											整理番号	036						
事務事業名	農業振興事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業			
担当部	産業振興部	担当課	農政課	担当係	振興係										6	1	3	1
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市農業基本計画)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: 常総市補助金交付規則, 常総市農業振興補助金交付要綱)											

2 事務事業の概要 <input type="checkbox"/> 予算事業全体について記入して下さい。															
対象	個人、農協、認定農業者、農業者及び農業者等で組織する団体、その他法人等														
目的	農業者等が自ら所得増大を目指し、「儲かる農業」の実現に向けた取組を支援する。(畜産及び稲作振興は別予算となるため除く)														
内容・手段	意欲ある農業者に対し、補助事業や市の制度等の活用し、生産性や収益性の高い実践的なモデルケースとなる担い手農家を育成することで、常総市全体の農業の底上げを図る。														

3 事務事業の主たる成果指標 <input type="checkbox"/> 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。															
指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	60	目標年次	令和4年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	補助事業のほか、農業ヘルパー事業やアグリオーナー制度の活用者数を目標値とすることで、本事業の効果を計る指標とする。						

4 事務事業の実績 ①																							
平成29年度				2年間の主な事業内容(実績)																			
決算額	4,502,000	円	内訳	特定財源	3,194,000	円	一般財源	1,308,000	円	前年度(平成30年度)	・(県単)儲かる産地支援事業(継続) 「儲かる農業」の実現に向け、生産性の向上や付加価値の向上、ICTや高性能機械など低コストで高品質な農産物が生産できる仕組の導入を進め、収益性の高い農業経営を実践するモデル的な担い手農家の育成をし、他の担い手農家に横展開を図る取組を支援する。 ・(市単)がんばる農家応援事業(事業期間終了) ・常総市農業ヘルパー事業(新規) 農業ヘルパー及び雇用希望者を登録した台帳を整備し、相互に閲覧し直接契約を結べる仕組みである。マッチング数を増やすために事業活用に向けて、周知等を行い、農業者の労働力不足を補い、雇用機会の拡大を図っている。						今年度(令和元年度)	・(県単)儲かる産地支援事業 1件 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) 21件 ・常総市アグリオーナー制度事業(制度構築・参加農家募集) 道の駅整備を見据え、交流人口拡大や農業所得増加が目的。制度は消費者が生産者等に収穫前に申し込みを行い、農産物を受け取る仕組みで、種まきや剪定、収穫作業等の体験など、生産過程を消費者が楽しむことがセットで可能となる取組み。農産物を売るだけでなく、農業体験も込みで価格設定できるため、単価を高く設定できるほか、消費者と交流の機会が得られ、今後の販路拡大(PRや直接販売等)が見込むことが可能。 ・第58回茨城県茶業振興共進開催 本県の茶業振興を目的に生産者組合や自治体等で構成され、全国農林水産祭参加行事の一環として毎年品評会を開催し、優れた生産者に対し表彰を行っている。今年度は当市と八千代町の共催で実施した。					
目標に対する実績値				5	件																		
(住民一人あたりの行政コスト)				74	円																		
平成30年度																							
決算額	2,108,000	円	内訳	特定財源	1,820,000	円	一般財源	288,000	円														
目標に対する実績値				12	件																		
(住民一人あたりの行政コスト)				35	円																		
令和元年度																							
決算額	2,824,773	円	内訳	特定財源	812,000	円	一般財源	2,012,773	円														
目標に対する実績値				22	件																		
(住民一人あたりの行政コスト)				47	円																		

5 担当課評価 ② <input type="checkbox"/> 実施したことによる成果や課題を記入してください。															
成果	目標どおり														
成果内容分析	高齢化や担い手不足による作付面積の減少が課題であり、農機導入による省力化を図り産地拡大を目指すため、今年度はハウレンソウ栽培における包装機導入補助を実施、労働作業の軽減が図られた。また農家の新たな販路や農業所得増加を目的に、新たにアグリオーナー制度事業を立ち上げた。このほかヘルパー制度も認知度が徐々に上がっており、利用件数は21件となった。 なお、指標は当初目標値の20件を達成したことから、今年度は40件に変更した。														
課題	アグリオーナー制度の参加農家を募集しているが、まだ認知度が低い状況である。令和2年度はオーナーの募集も予定していることから、ホームページや認定農業者の会を通して、さらなる周知等により制度への関心を高め、参加農家を増やす考えである。このほか、常総IC周辺での新たな農業の取組など、先進性や収益性が見込める取組み等については、国県の補助事業を活用し積極的に支援していく必要がある。														

7 実施計画 ③ <input type="checkbox"/> 今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。															
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度				
事業内容	・(県単)儲かる産地支援事業(継続) 2件想定 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) 25件想定 ・常総市アグリオーナー制度事業(利用者募集スタート) 13件想定 ・道の駅における生産者の出荷体制構築等の支援 2022年度末の開業を目指す道の駅において、指定管理者及びアグリサイエンスバレー推進チームとともに、地元生産者の出荷体制等の構築を行い、所得増大、生産意欲向上につなげる。 ・(国補)強い農業・担い手づくり総合支援交付金申請に向けての事業調整 常総IC周辺整備事業の農地エリアに進出する農業法人が次世代施設園芸等の産地基幹施設の導入を検討していることから、2021年度の補助金交付申請に向けて事業者や国県と事前調整を行う。					・(国補)強い農業・担い手づくり総合支援交付金 2件想定 常総IC周辺整備事業の農地エリアに進出する農業法人に対し、次世代施設園芸等の産地基幹施設の導入にあたり、助成を行う。 ・(県単)儲かる産地支援事業(継続) 2件想定 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) 30件想定 ・常総市アグリオーナー制度事業(継続) 16件想定 ・道の駅における生産者の出荷体制構築等の支援(継続)					・(県単)儲かる産地支援事業(継続) 2件想定 ・常総市農業ヘルパー事業(継続) 35件想定 ・常総市アグリオーナー制度事業(継続) 23件想定 ・道の駅における生産者の出荷体制構築等の支援(継続)				

6 担当部長評価 ④ <input type="checkbox"/> 担当部長で協議のうえ、評価してください。															
事務事業の方向性															
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止															
評価理由	今後、更なる高齢化や担い手不足が懸念される中、農業者の所得増加に向けて「儲かる農業」を目指して主体的に取り組み事業を支援するため、市として常総IC周辺開発事業等のアグリサイエンスバレー構想に基づき、農業の活性化を図っていくうえで様々な施策を展開し推進していく。引き続き、事業を継続推進していく。														

成果指標	指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	40	指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	50	指標名	補助事業や制度等の活用件数	単位	件	目標値	60
予算額	歳出	計			4,456	千円	歳出	計			2,004,150	千円	歳出	計			4,150	千円
		特定財源			3,306	千円		特定財源			2,003,000	千円		特定財源			3,000	千円
		一般財源			1,150	千円		一般財源			1,150	千円		一般財源			1,150	千円
	歳入	計			4,456	千円	歳入	計			2,004,150	千円	歳入	計			4,150	千円

8 行政改革懇談会(市民)の意見															
担当部長評価のとおりでよい。 農業は常総市の基幹産業であるが、高齢化や担い手不足により作付けされていない畑が増加傾向にあるため、「儲かる農業」をPRしていくことが重要である。「道の駅」を含めた広い視野で捉え、常総市の目玉事業としてありとあらゆる知恵を結集して農業振興に取り組んでいただきたい。															

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤															
事務事業の方向性															
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止															
評価理由	農業基本計画に記されている1つの柱として、「農業経営の強化」をすることで「儲かる農業」につながる。今後も当市の特色を生かした新規事業を展開し、経営の強化・安定を図るべきである。併せて、庁内一体となって連携を図り、新たな常総ブランドを立ち上げられたい。														

10 事務事業の改善点と理由 ⑥ <input type="checkbox"/> 実施計画のみ作成する場合も記入してください。															
事業内容															